

# 平成30年度事業評価 課別評価シート

## 【区民部 区民課】

[地域コミュニティ]

[交流]

[住環境]

このシートでは、基本構想の実現に向けて、各課が目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化</li><li>○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化</li><li>○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度<br/>(事業実績の推移)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方<br/>(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付</li><li>・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮</li><li>・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など</li></ul> |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>○中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段</li><li>○中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）</li><li>○中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）</li><li>○新規事業の必要性</li><li>○投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分</li></ul> | <p>【方向性の類型】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの</li><li>改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直するもの</li><li>縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの</li><li>終了確定 → 事業が既に終了した、または終了が確定しているもの</li></ul> |
|---|--|

## 【地域コミュニティ】

1 中間アウトカムと計画事業の一覧	P.2
2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価	P.3
3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価	P.6

# 1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【区民部 区民課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。  
基本構想の【地域コミュニティ】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	<b>3-1 地域コミュニティ</b>
将来像	<b>みんなが集う、おせっかいのまち</b>

中間アウトカム (A)
区民が地域活動に参加・参画している

中間アウトカム (B)
多様な主体が、地域課題の解決に向け、活動している

基本構想実施計画事業	
① 町会・自治会活動の支援	区民
② 地域活動センター・区民会館の整備	区民
③ 地域活動センター運営の充実	区民
④ ふれあいサロン事業	区民
⑤ 新たな公共の担い手との協働の推進	再掲 区民
小地域福祉活動の推進	再掲 福祉政策
「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～	アカデミー推進

基本構想実施計画事業	
① 町会・自治会活動の支援	再掲 区民
② 新たな公共の担い手との協働の推進	区民
小地域福祉活動の推進	福祉政策
大学連携の推進	再掲 アカデミー推進
災害ボランティア体制の整備	再掲 福祉政策

## 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【区民部 区民課】

【地域コミュニティ】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（区民課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (A)**      **区民が地域活動に参加・参画している**

### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	町会・自治会活動の支援		町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている				
主な取組			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
	町会・自治会加入率	%	—				68
	事業費(千円)		41,595				
	行政コスト(千円)		—				
	所要人員		4,518				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	町会・自治会の加入率は、3年に一度の世論調査により推計しており、平成24年度65%、平成27年度66.4%と横ばい傾向で、次回は平成30年度に実施します。各補助金制度や加入促進ポスター・パンフレットを積極的に活用するとともに、新たな取り組みを検討していきます。				

No.	事業名		事業目的			
②	地域活動センター・区民会館の整備		地域コミュニティの拠点としての機能が充実し、活発な地域活動が行われている			
主な取組			H29	H30	H31	
	地域活動センターの機能充実を図るため、介護老人保健施設と複合した音羽地域活動センターの施設整備を行いました。また、区民の集いの場を提供するため、障害者施設と複合した本郷会館の施設整備を行いました。					
	事業費(千円)		176,203			
	行政コスト(千円)		—			
	所要人員		1,154			
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

No.	事業名		事業目的				
③	地域活動センター運営の充実		地域コミュニティの拠点としての機能が充実し、活発な地域活動が行われている				
主な取組			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
	地域活動センターの利用人数	人	418,448			418,448	1,249,500
	地域活動団体懇談会の実施	回	1			1	9
	事業費(千円)		95,792				
	行政コスト(千円)		—				
所要人員		6,922					
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

No.	事業名	事業目的
④	ふれあいサロン事業	あらゆる世代が気軽に交流し、地域活動を担う人材が発掘・育成されている

		H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	地域の人材を活用した講座の実施	7			7	23
	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連した事業	1			1	9
事業費(千円)		6,312				
行政コスト(千円)		195,262				
所要人員		45.173				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載				

⑤	新たな公共の担い手との協働の推進	NPOや事業者などと協働して様々な地域課題の解決が図られている。
---	------------------	----------------------------------

※「3-1 地域コミュニティ」の「中間アウトカム(B)」に実施状況が記載されます。

No.	事業名	事業目的
他課	小地域福祉活動の推進	地域での悩みや課題を、住民同士で支え合いながら、解決を図っている

他課	「文京バックアップーズ」～大学生ボランティアのススメ～	大学生等がボランティア活動に積極的に参加している
----	-----------------------------	--------------------------

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

中間アウトカム (A)		区民が地域活動に参加・参画している	
課題等を有する計画事業の有無		有	
事業名及び事業目的	町会・自治会活動の支援 町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	長年地域コミュニティ活動の中心的な役割を果たしている町会・自治会の活動を支えていくことが重要です。しかしながら、町会・自治会内には高齢化や担い手不足により、新たな事業展開が難しくなっているという課題もあります。今後も地域活動への参加や担い手の世代交代を促進するため、加入促進活動を一層支援していく必要があります。新たな転入者、特にマンション住民に町会の様々な活動や役割を理解してもらい、加入を促進するための新たな取り組みを引き続き検討していきます。		
事業名及び事業目的	地域活動センター運営の充実 地域コミュニティの拠点としての機能が充実し、活発な地域活動が行われている	方向性の類型	【拡充】
課題及び方向性	地域活動の拠点としてより多くの区民に利用してもらうための方策を検討するとともに、地域の課題を解決するための交流の場としても活用していきます。 なお、29年度は地域活動団体懇談会を向丘地域活動センターでモデル実施しました。今後は他の地域活動センターにおいても実施し、地域課題の解決を図っていきます。		
事業名及び事業目的	ふれあいサロン事業 あらゆる世代が気軽に交流し、地域活動を担う人材が発掘・育成されている	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	地域活動への参加のきっかけとなるような講座を実施していくことが重要です。しかしながら、現在、生涯学習に類するサロンが多く実施されていることから、各講座の内容や実施方法等を見直し、地域活動への参加のきっかけとなるような講座を展開していきます。		
事業名及び事業目的	新たな公共の担い手との協働の推進 NPOや事業者などと協働して様々な地域課題の解決が図られている。	方向性の類型	【改善・見直し】
課題及び方向性	地域活動に意欲のある区民が主体的に活動に参加・参画できる機会を増やしていくことが重要です。そのため、区と社会福祉協議会の連携を一層深め、NPOや事業者等の行う地域活動情報の提供や地域活動へのきっかけとなるような各種イベント・講座の開催等により、区民が地域活動に参加・参画するきっかけづくりに取り組んでいきます。		

### 3 中間アウトカム (B) に関する事業の実施状況と自己評価

【区民部 区民課】

【地域コミュニティ】の中間アウトカム(B)に紐づく基本構想実施計画事業（区民課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (B)** 多様な主体が、地域課題の解決に向け、活動している

#### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名	事業目的
①	町会・自治会活動の支援	町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている

※「3-1 地域コミュニティ」の「中間アウトカム(A)」に実施状況が記載されます。

② 新たな公共の担い手との協働の推進		事業目的					
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	どっとフミコムへの掲載団体数	団体	255			255	600
	提案公募型協働事業実施数	件	0			0	3
	事業費(千円)		9,500				
	行政コスト(千円)		—				
所要人員		0.060					
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	29年度の提案公募型協働事業については、地域課題の解決に向けた事業スキームの構築に一定の期間を要したため、対象事業の募集及び選定までを行い、事業助成は30年度を予定しています。今後、さらに効果的な事業実施方法等の検討を行いながら、様々な地域課題の解決につなげていきます。				

No.	事業名	事業目的
他課	小地域福祉活動の推進	地域での悩みや課題を、住民同士で支え合いながら、解決を図っている

他課	大学連携の推進	大学の特性を生かし、地域課題の解決が図られている
----	---------	--------------------------

他課	災害ボランティア体制の整備	発災時に適切に機能する災害ボランティア体制が構築されている
----	---------------	-------------------------------



## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

<b>中間アウトカム (B)</b>	<b>多様な主体が、地域課題の解決に向け、活動している</b>	
課題等を有する計画事業の有無	<b>有</b>	

事業名 及び 事業目的	町会・自治会活動の支援 町会・自治会への加入が促進され、活発な地域活動が行われている	方向性 の類型	<b>【改善・見直し】</b>
課題及び 方向性	町会・自治会内では、その中心を担う役員等の高齢化や担い手不足という課題があります。活発な地域活動を行うには、町会等の役員だけで解決することが難しくなっている町会等もあります。今後も地域活動への参加や担い手の世代交代を推進するため、新たな転入者、特にマンション住民に町会の様々な活動や役割を理解してもらい、加入促進活動を一層支援していく必要があります。		

事業名 及び 事業目的	新たな公共の担い手との協働の推進 NPOや事業者などと協働して様々な地域課題の解決が図られている。	方向性 の類型	<b>【改善・見直し】</b>
課題及び 方向性	地域課題解決に向けて、区が想定する課題と実際に地域活動を行っているNPOや事業者等が取組を希望する課題のマッチングが重要となります。子どもの貧困対策をはじめとする地域活動団体の取組を引き続き推進していくとともに、NPOや事業者等の現状をリサーチしながら社会福祉協議会との連携を一層深め、多様な主体との連携を推進していきます。		

## 【交流】

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧              | P.9  |
| 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.10 |

# 1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【区民部 区民課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。

基本構想の【交流】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	<b>3-7 交流</b>
将来像	<b>交流の輪を広げ、互いの魅力を高め合うまち</b>

## 中間アウトカム (A)

**国内外の地域との交流が進み、互いの文化等の理解が深まり、相互の地域振興が図られている**

### 基本構想実施計画事業

① 山村体験交流事業	区民
② 国内交流の推進	区民
協定締結都市等との文化交流事業	再掲 アカデミー推進
海外都市との交流事業	アカデミー推進
外国人参加型交流事業	再掲 アカデミー推進

## 2 中間アウトカム (A) に関する事業の実施状況と自己評価

【区民部 区民課】

【交流】の中間アウトカム(A)に紐づく基本構想実施計画事業（区民課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (A)** 内外の地域との交流が進み、互いの文化等の理解が深まり、相互の地域振興が図られている

### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	山村体験交流事業		区民が自然とふれあい、地域住民との交流を深めている				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	山村体験交流事業	回	18			18	66
	事業費(千円)		933				
	行政コスト(千円)		—				
	所要人員		0.579				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

②	国内交流の推進		住民レベルの交流が活発に行われ、相互理解が深まっている				
			H29	H30	H31	累計	3力年計画
主な取組	全国自治体との交流推進事業	件	73			73	111
	事業費(千円)		3,581				
	行政コスト(千円)		10,292				
	所要人員		1.383				
進捗の課題	無	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載					

No.	事業名		事業目的				
他課	協定締結都市等との文化交流事業		住民レベルの交流が活発に行われ、相互理解が深まっている				
他課	海外都市との交流事業		文化交流等を通じ、相互理解が深まっている				
他課	外国人参加型交流事業		地域の事業に外国人が参加し、区民との相互理解が深まっている				

## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

<b>中間アウトカム (A)</b>		内外の地域との交流が進み、互いの文化等の理解が深まり、相互の地域振興が図られている	
課題等を有する計画事業の有無		有	
事業名 及び 事業目的	国内交流の推進 住民レベルの交流が活発に行われ、相互理解が深まっている	方向性 の 類型	【改善・見直し】
課題及び 方向性	国内交流を推進するためには、自治体間の交流に留まらず、継続的な住民同士の自主的な交流を推進するためのきっかけ作りについて、検討する必要があります。		

## 【住環境】

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| 1 中間アウトカムと計画事業の一覧              | P.13 |
| 2 中間アウトカム (D) に関する事業の実施状況と自己評価 | P.14 |

# 1 中間アウトカムと計画事業の一覧

【区民部 区民課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。  
基本構想の【住環境】の分野について、中間アウトカム及びそれに紐づく基本構想実施計画事業を示します。

基本構想実施計画	
中項目	<b>4-1 住環境</b>
将来像	<b>だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち</b>

中間アウトカム (D)
移動しやすい交通環境が整備されている

基本構想実施計画事業	
① コミュニティバス運行	区民
自転車シェアリング事業 実証実験	再掲 管理
バリアフリー基本構想の 推進	再掲 都市計画
バリアフリーの道づくり	再掲 道路
コミュニティ道路整備	再掲 道路
自転車走行空間整備	再掲 道路

## 2 中間アウトカム (D) に関する事業の実施状況と自己評価

【区民部 区民課】

【住環境】の中間アウトカム(D)に紐づく基本構想実施計画事業（区民課が所管するもの）について、事業の実施状況や、中間アウトカムを達成するための課題・方向性を示します。

**中間アウトカム (D)** 移動しやすい交通環境が整備されている

### (1) 事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

No.	事業名		事業目的				
①	コミュニティバス運行		交通の利便性が高まっている				
			H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	コミュニティバスの利用促進(千駄木・駒込ルート)	人	495,794			495,794	1,522,500
	コミュニティバスの利用促進(目白台・小日向ルート)	人	445,973			445,973	1,349,400
	事業費(千円)		42,481				
	行政コスト(千円)		48,484				
	所要人員		1,237				
進捗の課題	有	進捗に課題がある場合は右欄へ内容と改善策を記載	利用者減の要因として、平成30年1月の大雪による運行休止や迂回運行の影響、また、新たな公共交通手段として自転車シェアリングが普及したことなどが考えられます。新規利用者獲得のため、サービス及び利便性の向上策を検討していきます。				

No.	事業名	事業目的
他課	自転車シェアリング事業実証実験	自転車シェアリングが新たな公共交通手段として定着するか可能性を検証する
他課	バリアフリー基本構想の推進	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている
他課	バリアフリーの道づくり	区道のバリアフリー化が進められている
他課	コミュニティ道路整備	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている
他課	自転車走行空間整備	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている



## (2) 中間アウトカム等の達成に向けた事業の課題及び方向性

中間アウトカム又は事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合には、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

<b>中間アウトカム (D)</b>	<b>移動しやすい交通環境が整備されている</b>	
課題等を有する計画事業の有無	<b>有</b>	

事業名 及び 事業目的	コミュニティバス運行 交通の利便性が高まっている	方向性 の 類型	<b>【改善・見直し】</b>
課題及び 方向性	公共交通に関する区民ニーズを把握していくことが重要となります。そのため、29年度に実施したコミュニティバスBーぐる課題分析報告書で示された課題に対する詳細分析を実施するとともに、沿線協議会等の意見を参考にしながらサービスや利便性の向上を進め、利用者数の増を図っていきます。		

## 評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

### 【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

### 【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分